

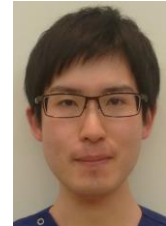
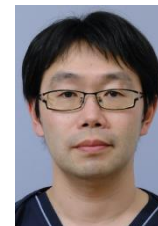
# 由利組合総合病院 外科



2018年6月 更新

# メンバー

- 60歳代1人、50歳代 3人、40歳代 2人、30代 2人。  
ベテランがそろい、かつ研修医が質問しやすい年代が働いています！
- 指導医・専門医
  - 日本外科学会 指導医・専門医
  - 日本胸部外科学会 認定医
  - 日本呼吸器外科学会 専門医
  - 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡指導医・専門医
  - 日本消化器外科学会 指導医・専門医
  - 日本乳癌学会 認定医
  - 日本がん治療認定医
- 呼吸器、消化器、乳腺、甲状腺、外傷・・・なんでも対応！



## 呼吸器疾患

- 呼吸器外科専門医が、肺癌、胸膜疾患、胸部外傷、感染性肺疾患の診断から治療までを、総合的に行っています。
- 週1回の呼吸器カンファレンス、秋田大学南谷教授をお招きしての勉強会、院外での呼吸器疾患の研究会への参加を積極的に行い、研鑽に努めています。
- 禁煙指導もしっかり行います。
- ちなみにICD（infection control doctor）が2名おります。

## 肺癌診療

- 呼吸器内視鏡学会の認定関連施設です。
- 手術は完全鏡視下手術から標準開胸手術まで、症例に適した方法を選択します。
- 手術不能進行癌には、放射線化学療法、分子標的薬治療、免疫チェックポイント阻害剤治療を行います。
- 再生検による診断は重要で、気管支鏡、CTガイド針生検、エコーガイド下生検、胸腔穿刺、胸腔鏡下手術とすべてができるのは、外科医の強みです。

## 胸膜疾患

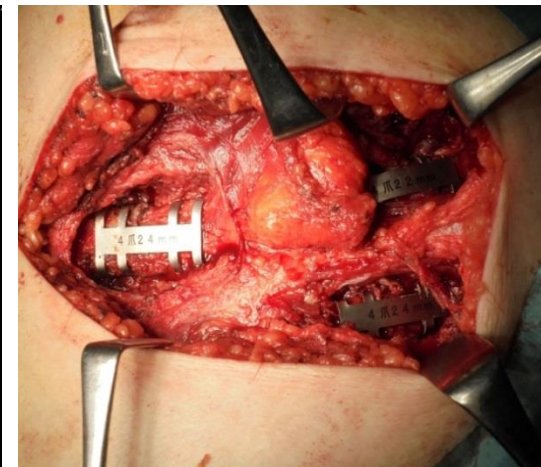
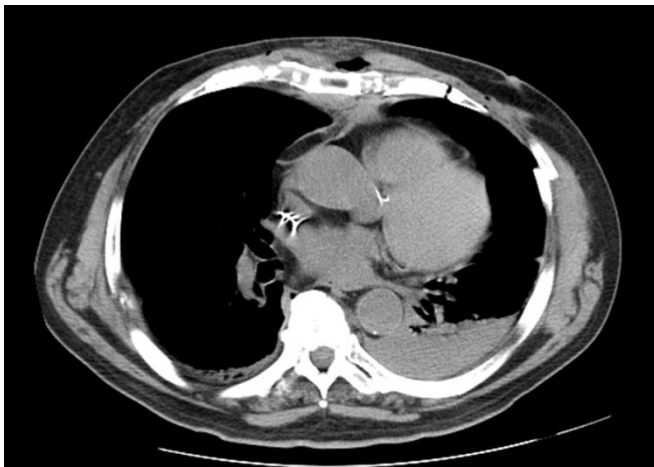
➤ 近年、高齢者気胸が増えており、手術以外の治療法にも取り組んでいます。

例：胸腔造影下フィブリン糊閉鎖法、気管支鏡下EWS充填、  
胸膜癒着療法など

➤ 胸腔ドレナージ、フィブリン溶解療法で治癒困難な膿胸に対しては、  
胸腔鏡手術を行います。

## 胸部外傷

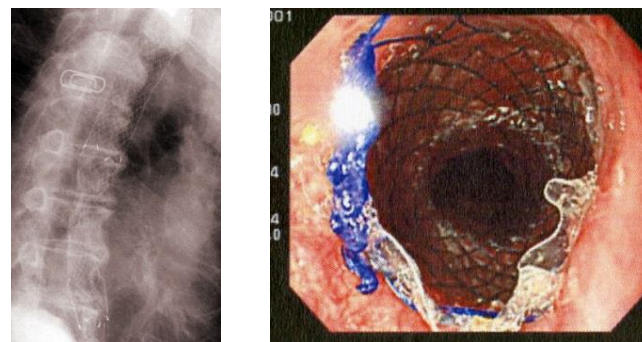
- 多発肋骨骨折、血気胸は、他臓器の損傷を伴うこともしばしばあり、他診療科や、理学療法士、栄養士、薬剤師といった他職種とのチーム医療が大切です。
- 2017年は重症呼吸不全を伴う患者に2例に、肋骨固定術を行い奏効しました。
- 全身管理のできる外科医を目指します。



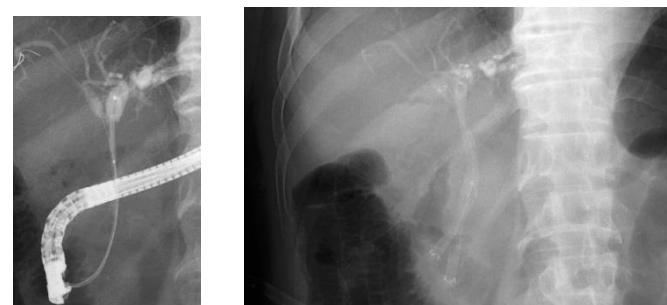
# 消化器疾患

胃腸炎、胆嚢炎、急性膵炎、肝硬変など、内科的治療例も入院します。  
消化器内科との連絡は密であり、消化器疾患に関しても、研修可能です。

※ 消化器内科のローテーションあり（消化器内科HP参照）



【食道ステント】

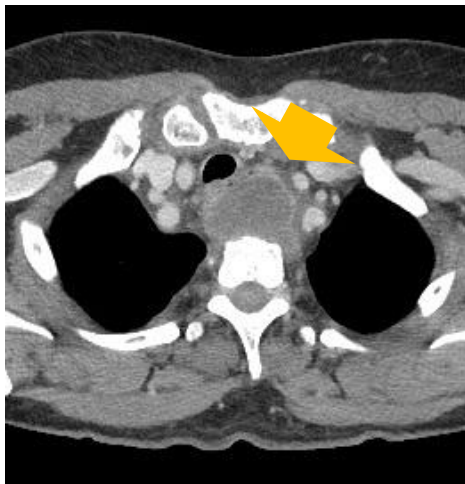


【胆道ステント】

## 消化器内科との連携



かつて、咽頭・食道穿孔による降下性縦隔炎・縦隔膿瘍は致命的疾患であり、緊急開胸手術が行われていました。  
消化器内科と外科で連携し、超音波内視鏡下に縦隔膿瘍の穿刺ドレナージを行い、過大侵襲をさけて治療を行いました（全身麻酔下）



↓ : 膿瘍腔

↓ : 排膿用ドレーン



# 化学療法・放射線療法

- 肺・乳腺・消化器癌の術前・術後化学療法や、再発・進行癌に対する化学療法を行います。
- 局所進行癌や遠隔転移巣に対して、化学放射線療法も行っています。
- QOLの維持、年齢、職業、家庭環境を考慮した上で、エビデンスに基づいた治療法を選択します。
- 日本がん治療認定医機構 がん治療認定施設。

がん治療認定医 4人

がん薬物療法認定薬剤師 2人

※ 研修中：

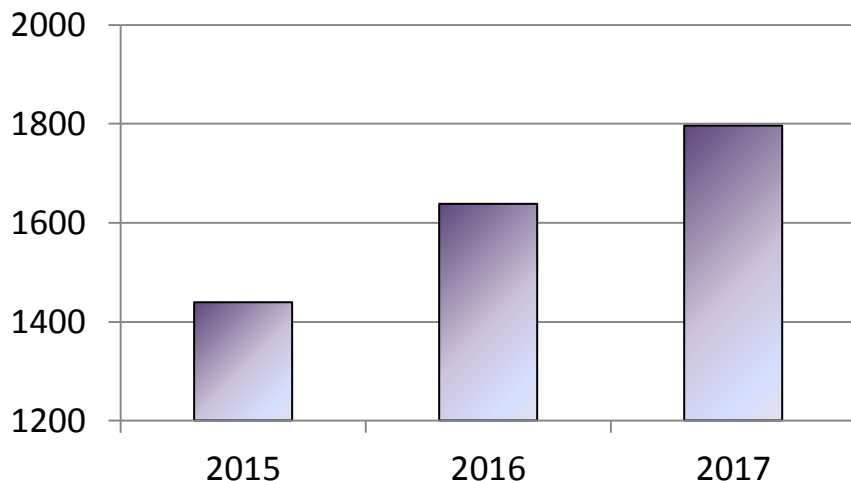
がん看護専門看護師 2名

がん化学療法看護認定看護師 1名



# 外科での化学療法

## 年別 外科化学療法件数の推移



新規抗癌剤や分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬の出現により、患者の予後は大きく伸びました。これに伴って化学療法件数は年々増加し、癌治療の中でも大きな位置を占めるようになりました。

| 臓器  |    | 件数(2017年) |     |
|-----|----|-----------|-----|
| 呼吸器 |    | 606       |     |
| 乳腺  |    | 492       |     |
| 消化器 | 食道 | 47        | 698 |
|     | 胃  | 83        |     |
|     | 大腸 | 410       |     |
|     | 胆膵 | 158       |     |
| 合計  |    | 1796      |     |

臨床症状や遺伝子変異などの腫瘍特性、年齢や希望などの患者特性、QOLの維持や毒性などの治療特性を勘案し、患者個人の意思を尊重した化学療法を提案・実践しています。

# 化学療法に関する講演会・セミナーに参加

- 秋田県内や東北地方だけでなく、全国の講演会やセミナーに参加。
- 「同じ知識を共有する」目的で、医師だけでなく、薬剤師や看護師も参加します。

2017年5月20日(土) 15:00~17:30  
会場：ホテルオークラ神戸

**Session 1 | 腫瘍血管新生の基礎**

司会 石岡 千加史 先生 東北大学加齢医学研究所 臨床腫瘍学分野 教授  
 演者 高倉 伸幸 先生 大阪大学 微生物病研究所 情報伝達分野 教授

**Session 2 | 大腸癌セッション**

司会 加藤 健志 先生 関西労災病院 下部消化器外科 部長  
**サイラムザ+ FOLFIRI療法の使用経験**  
 演者 永坂 岳司 先生 岡山大学病院 消化管外科 講師  
 松本 俊彦 先生 姫路赤十字病院 内科 第一内科副部長

**大腸癌治療最新情報**  
 演者 吉野 孝之 先生 国立がん研究センター東病院 消化管内科 科長

**Session 3 | 胃癌セッション**

**胃癌治療最新情報**  
 司会 掛地 吉弘 先生 神戸大学大学院医学研究科外科科学講座 食道胃腸外科学分野 教授  
 演者 室 圭 先生 愛知県がんセンター中央病院 薬物療法部 部長 外來化学療法センター長

**総合討論：進行胃癌治療 臨床上の問い**  
 司会 山口 研成 先生 がん研究会有明病院 消化器化学療法科 部長  
 ディスカッション 吉川 貴己 先生 神奈川県立がんセンター 院長補佐 消化器外科部長  
 工藤 敏啓 先生 大阪大学大学院医学系研究科 先進薬物療法開発学寄附講座 助教  
 舛石 俊樹 先生 愛知県がんセンター中央病院 薬物療法部

一般社団法人 日本癌治療学会  
 Japanese Society of Clinical Oncology

第14回日本癌治療学会アップデート教育コース  
 日時：2017年7月1日(土) 13:00~17:00  
 会場：仙台国際センター 仙台市青葉区有馬1-1-1  
 TEL: 022-262-2211  
 受講費：300名、対象は医師、薬剤師、看護師等医療従事者

**プログラム**

開会の挨拶 13:00~13:05  
 榎本 建二 (第14回アップデート教育コース実行委員長/山形大学 医学部放射線腫瘍学講座)

第1 がんの新しい手術療法(ロボット手術) 13:05~13:35  
 山田 隆彦 (山形大学医学部放射線科)

第2 がんの免疫チェックポイント阻害薬 13:35~14:05  
 榎本 建二 (山形大学大学院医学研究科腫瘍学講座)

第3 がんの緩和医療 14:05~14:15  
 野田 孝雄 (岩手県立病院がんセンター放射線科腫瘍学講座)

第4 がんの緩和医療 14:45~15:15  
 村上 彰 (東北大学大学院医学系研究科緩和医療学)

第5 がんの緩和医療 15:15~15:25  
 吉岡 孝志 (山形大学医学部腫瘍学講座)

第6 オンコロジックエマーゼンション 15:25~15:55  
 山田 隆彦 (山形大学医学部腫瘍学講座)

第7 がんの緩和医療 15:55~16:25  
 村上 彰 (東北大学大学院医学系研究科緩和医療学)

第8 G-CSF療法 16:25~16:55  
 石塚 賢一 (山形大学大学院医学部腫瘍学講座)

閉会の挨拶 16:55~17:00  
 榎本 建二 (第14回アップデート教育コース実行委員長)

東北臨床腫瘍セミナー  
 The 25th Seminar of Tohoku Clinical Oncology Research and Education Society

第25回  
 2017.6.17 (Sat)  
 12:40~16:00

**プログラム**

**開会の挨拶**  
 12:40~12:45 秋田赤十字病院 武藤 理 先生

**情報提供**  
 12:45~13:00 『TS-1の適正使用情報』 大塚薬品工業株式会社 仙台支店学術課 石川 実実

**企画**  
 13:00~13:30 『チーム医療の実践』  
 (座長) 十和田市立中央病院 内野 弘晃 先生  
 ①がん診療連携拠点病院におけるがん患者指導管理科算定～総合病院での取り組みの実例～ 山形県立中央病院 外來化学療法センター がん化学療法認定看護師 大森 恵子 先生  
 ②多職種連携による免疫チェックポイント阻害薬の副作用管理 秋田赤十字病院 薬劑部 がん薬物療法認定看護師 田口 伸 先生

**教育講演**  
 13:30~14:10 『チームで支える超高齢社会のがん薬物療法』  
 (座長) 岩手医科大学 伊藤 善樹 先生  
 県立広島病院 腫瘍内科 主任部長 篠崎 勝則 先生

**休憩**

**話題**  
 14:35~15:05 『がん薬物療法—最新の話題から』  
 (座長) 福島労災病院 長瀬 淳 先生  
 東北大学加齢医学研究所 臨床腫瘍学分野 准教授 高橋 雅信 先生

**特別講演**  
 15:05~15:55 『胃癌の根治を目指して～集学的治療の展望～』  
 (座長) 秋田赤十字病院 武藤 理 先生  
 神戸大学大学院医学研究科外科科学講座 食道胃腸外科学分野 教授 掛地 吉弘 先生

**開会の挨拶**  
 15:55~16:00 山形市立病院演習部 黒木実智雄 先生

当日は、会場(医師¥1,000、スタッフ¥500)を兼ねさせていただきます。  
 ＊会場は、日本癌治療学会教育講座の協賛で開催させていただきます。  
 ＊会場は、日本癌治療学会教育講座の協賛で開催させていただきます。

## 院内開催 セミナー（癌化学療法セミナー）

- 2015年より毎年、癌化学療法に関して、基礎、癌化学療法の実際、副作用対策および癌治療に付随する重要事項について、セミナー形式で開催。
- 2017年のテーマは「胃癌」。171名（3回）が聴講。  
当院スタッフだけでなく、近隣病院や開業医とスタッフも参加。
- 講師：がん治療認定医、がん薬物療法認定薬剤師、緩和ケア認定看護師、管理栄養士、リンパ浮腫セラピスト、がん相談支援センター、栄養サポートチーム、および 院外講師



## 緩和ケア

- 主治医だけでなく、麻酔科医師、がん薬物療法認定薬剤師、緩和ケア認定看護師、管理栄養士など、多職種で構成されるチームで議論し、症例ベースでの治療方針決定を行います。
- 厚生労働省の指針に沿った緩和ケア研修会を毎年開催。



【緩和ケアチーム回診】



【緩和ケア研修会】

## 研修医指導方針

手術はやらないと、うまくならない！  
1年目から、どんどんやりましょう！



【2年目研修医の右半結腸切除】

- まず、「**患者を責任もって治療する**」という**自覚**を持ちましょう！
- 「**手術が必要で、腕がないと治療できない**」**無力さ**を感じましょう！
- 腕を身につけるため、**必死に勉強**しましょう！
- **術者となって**手術をしましょう！  
スムーズに出来なかった点に関して、ベテランが熱心に指導します！
- **助手となって**、「術者では気付かなかったこと」を身につけましょう！
- また、**さらに必死に勉強**しましょう！
- 次に術者になった時、出来なかったことが出来るように頑張りましょう！

あなたの『勉強』が患者を幸せにします！

## 外科専門医対策：手術実績

6年目以降に取得できる  
外科専門医手術経験数を3年でクリア！



|        | 1年目<br>(3ヶ月) | 2年目<br>(6ヶ月) | 3年目<br>(12ヶ月) | 計                |
|--------|--------------|--------------|---------------|------------------|
| こうへい先生 | 52 (1)       | 126 (44)     | 163 (91)      | <b>362 (136)</b> |
| かか先生   | 54 (4)       | 134 (46)     | 162 (93)      | <b>370 (143)</b> |

★3年目2名：外科は1年9カ月研修

★黒字は経験数（必要数 350例）、**( )** は術者数（必要数 120例）。

★この他、大血管手術・末梢血管手術をそれぞれ10例以上

★1年目は、手術操作に慣れるために手術実績に上らない手技が主です。

- ・開腹・閉腹
- ・開胸、閉胸
- ・胆嚢摘出
- ・消化管吻合

## 外科専門医対策：学術発表

6年目以降に取得できる  
外科専門医研究実績を3年でクリア！



➤ こうへい先生（学会発表）：計28単位 / 必要単位20単位

- 1) 『術中迅速診断にて甲状腺原発扁平上皮癌の診断を得た一例』
- 2) 『後腹膜粘液性嚢胞性腫瘍の一例』
- 3) 『主膵管途絶をきたした膵神経内分泌癌の一例』
- 4) 『腹壁に晩期再発したCA19-9産生胃癌の一例』

➤ かか先生（論文発表）：40単位 / 必要単位20単位

- 1) A Case of Transvenous Pacemaker Implantation in a 10-year-old Patient
- 2) A Case of Intractable Left Forearm Congenital Arteriovenous Fistula Ending with Amputation: Importance of New Medical Information Obtained via the Internet.



# 2017年度外科専門医対策：手術経験



6年目以降に取得できる  
外科専門医最低実績を

もう少し

でクリア！

|                     |      | 経験する領域      |            |             |             |             |              |             |                       |
|---------------------|------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-----------------------|
|                     | 専攻内容 | 消化器<br>(50) | 乳腺<br>(10) | 呼吸器<br>(10) | 小児外<br>(10) | 大血管<br>(10) | 末梢血管<br>(10) | 頭頸部<br>(10) | 外傷<br>(10点)           |
| ひろゆきくん<br>(2年目:5か月) | 消化器  | 済み          | 済み         | 2           | 4           | 済み          | 済み           | 4           | 済み<br>(JATEC 6点、手術4点) |
| よしやくん<br>(2年目:7か月)  | 消化器  | 済み          | 済み         | 8           | 6           | 済み          | 済み           | 4           | 済み<br>(JATEC 6点、手術4点) |
| ゆうすけくん<br>(1年目:2ヶ月) | 消化器  | 27          | 6          | 4           | 1           | 6           | 4            | 3           | 2点                    |

2018年1月 現在

# 2017年度外科専門医対策：学術発表

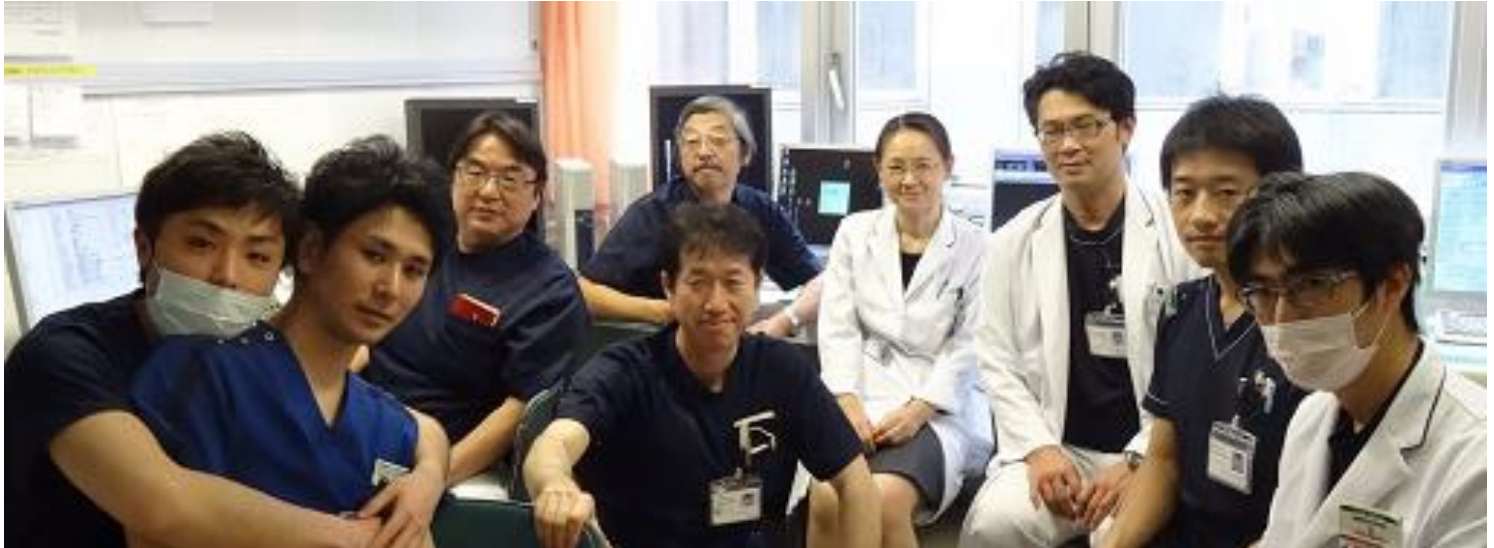


6年目以降に取得できる  
外科専門医研究実績を2年でクリア！

| 氏名              | 日時              | 場所 | 学会名                         | 演題名                               | 単位         |
|-----------------|-----------------|----|-----------------------------|-----------------------------------|------------|
| ひろゆきくん<br>(2年目) | 平成28年<br>9月10日  | 山形 | 第172回<br>東北外科集談会            | 診断に難渋した虚血性小腸炎の一手術例                | 済み<br>(24) |
|                 | 平成29年<br>6月3日   | 仙台 | 第173回<br>東北外科集談会            | 緊急手術を施行したMorgagni孔ヘルニア陥頓の1例       |            |
|                 | 平成29年<br>9月9日   | 盛岡 | 第174回<br>東北外科集談会            | 非特異的小腸潰瘍による閉塞性腸炎にて発症した蛋白漏出性胃腸症の1例 |            |
|                 | 平成30年<br>2月3日   | 仙台 | 第204回<br>日本消化器病学会<br>東北支部例会 | ミノサイクリンが被疑薬と考えられた重症急性膵炎の一例        |            |
| よしやくん<br>(2年目)  | 平成28年<br>9月10日  | 山形 | 第172回<br>東北外科集談会            | 診断に苦慮し、外科的切除で診断に至った肺放線菌症の一例       | 済み<br>(32) |
|                 | 平成29年<br>2月4日   | 仙台 | 第202回<br>日本消化器病学会<br>東北支部例会 | ボノプラザン使用が一因と考えられる重症便秘の2例          |            |
|                 | 平成29年<br>6月3日   | 仙台 | 第173回<br>東北外科集談会            | 女性化乳房を背景とした巨大線維腺腫の1例              |            |
|                 | 平成29年<br>11月23日 | 東京 | 第79回<br>日本臨床外科学会            | 成人T細胞白血病の小腸病変により腸管穿孔を生じた1例        |            |
| ゆうすけくん<br>(1年目) | 平成29年<br>9月9日   | 盛岡 | 第174回<br>東北外科集談会            | ベマシズマブ関連小腸穿孔をきたした切除不能肺癌小腸転移の1例    | 7          |

2018年2月 現在

# 最後に



➤ 十分な手術経験が出来ます！

⇒ 3年目から「**使える外科医**」になります！

⇒「外科専門医」への最短コース！

➤ 手術だけでなく、患者の希望を重視した  
「**総合外科医**」を目指します！

患者のQOL、年齢、職業、家庭環境を考慮した上で、治療法を決定

⇒手術、内科的治療、化学療法、放射線療法、緩和治療

病院見学、  
お待ちしております！